

ISOLITE INSULATING PRODUCTS

第129期 年次報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

耐火断熱技術で未来をつくる

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第129期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 飯田 栄司

当社グループは、熱産業の省エネルギーに貢献するために、耐火断熱れんがと高温断熱ウールに代表される高温用耐火断熱材を製造・販売しています。1000℃を超える高温での高度な断熱の実現

のためにセラミックウール技術と多孔質化技術を基盤に新製品を提供し、またそれらの技術は、熱産業界の省エネルギー化のみならず、防災や環境保全等の幅広い分野で社会に貢献しています。

社是

創意と調和

経営理念

1. 地球の環境にやさしく 国際社会の繁栄に寄与する
2. 時代の流れを先取りし 迅速に物事に対処する
3. 組織の壁にとらわれず 連携して社業に励む
4. 自己の仕事を前向きに たえず創造性を発揮する

イソライトの 製品開発力

最近のセラミックファイバー製品や
高機能製品についてご紹介!!

当社および当社グループは環境や人に優しいAES（アルカリ土類金属含有繊維）の高温用断熱材や機能製品ならびに社会ニーズに対応した自動車、半導体・電子材料の製造部材、高温排気ガス浄化材料などの開発・改良に取り組んでいます。当社グループはAESを含めRCF（リフラクトリーセラミックファイバー）、PCW（結晶化繊維/アルミナ質繊維）の3種の高温用セラミック繊維の全てを製造しており、より優れた高温用断熱材料の開発に取り組んでいます。



セラミック繊維製品分野

当社独自製品である生体溶解性セラミックファイバー「BSSRシリーズ」は2015年11月にRCFが特定化学物質障害予防規則（特化則）第2類に指定されたことを受け製造を開始しましたが、さらに「人に優しい」繊維を追求した改良を継続的に実施しております。

また市場ニーズに対応して耐熱性を向上させた改良製品、世界でもトップクラスの高温製品、さらに成形技術を応用・発展させて顧客の固有ニーズに対応した成形体、特殊製品を開発し、市場に提供しています。



BSSR成形品

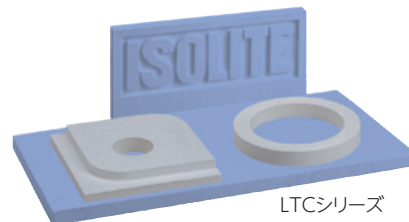
BSSR SERIES



高性能断熱材分野

マイクロポーラス系製品の「LTCシリーズ」の品揃えを進めてきましたが、世界で最初の1400℃クラス製品「LTC-HT」の開発に成功し、試験販売を開始しました。

人に優しい製品「LTC-A」に加えて市場ニーズの高い高温製品をラインアップしたことでお客様の期待に応えています。



LTCシリーズ

LTC SERIES



環境関連分野

機能製品である高温集塵フィルター「イソフィル」は当社独自の材料設計により高強度、低圧力損失を実現した製品です。製品の耐久性や耐衝撃性の改良を図りお客様の信頼と期待に応えるとともに新たなコンセプトで新製品の開発に取り組んでいます。

さらに環境関連では珪藻土を活用し社会ニーズに応えるための基礎研究を継続しています。



高温集塵フィルター「イソフィル」

ISOFIL

第129期の概況

事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、個人消費は緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦や世界的な景気減速の影響を受け、企業収益は高水準を維持しながらも足元では弱含む結果となりました。

わが国の鉱工業生産は、緩やかに持ち直してきておりましたが、年度後半より足踏み状態となりました。一方、設備投資は引き続き底堅く推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては中期経営計画（2018年度～2020年度）のスタートの年として、世界トップクラスの耐火断熱材メーカーとしての事業基盤の整備と、持続的成長に向けた新製品開発や海外事業の強化に取り組んでまいりました。

その結果、耐火断熱製品の販売は好調に推移しまし

たが、半導体・自動車関連製品の販売が減少し、当連結会計年度の売上高は167億70百万円（前期比0.0%増）となりました。

利益面におきましては、原燃料や人件費、輸送費のコスト上昇等の影響を受けた結果、営業利益は28億50百万円（同9.6%減）、経常利益は29億44百万円（同11.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は原料用地に係る特別損失を計上したことにより14億74百万円（同35.6%減）となりました。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、わが国経済は引き続き緩やかな成長が継続するものと予想されますが、消費税増税、世界的な経済成長の減速傾向、米中貿易摩擦を始めとする通商問題への懸念など、先行きについ

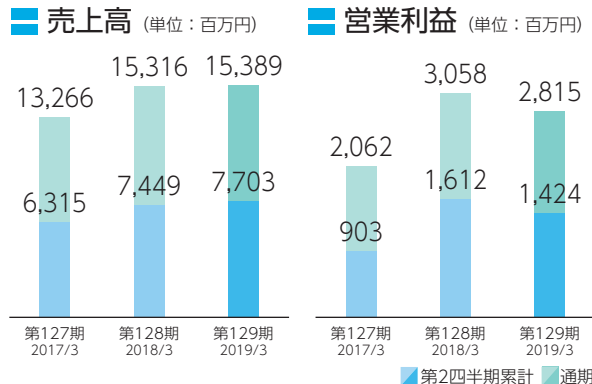
セグメント別の概況

断熱関連事業



- セラミックファイバー各種製品の製造・販売
- 耐火断熱れんがの製造・販売
- IT関連設備材料の製造・販売
- 自動車排気ガス浄化装置用材料の製造・販売
- 不定形耐火物および関連製品の製造・販売
- 工業炉の設計・施工
- ファイヤープロテクション材料の販売

断熱関連事業におきましては、耐火断熱れんがおよびRCF作業環境規制対策品の販売が好調に推移した一方、半導体・自動車関連製品の販売が減少し、売上高は前年を若干上回る153億89百万円（前期比0.5%増）となりました。



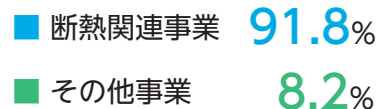
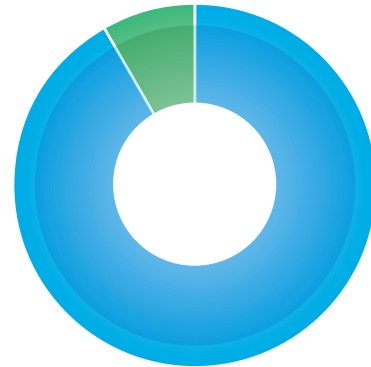
ては依然不透明な状況です。

このような環境のもと、当社グループは引き続き事業基盤の整備と海外事業の強化に取り組むとともに、ブランド力、技術力、販売力を最大限に強化することにより収益の確保に努めてまいります。

断熱関連事業におきましては、従来型製品に対するお客様の需要と期待に確実に応えするとともに、市場のニーズを捉えた高性能製品の開発や従来とは異なる新しい製品分野の開拓により売上拡大を目指します。また、現在建設に着手しております結晶質ファイバー増産設備のスムーズな立ち上げと早期の収益貢献を図ってまいります。

その他事業におきましては、建設関連資材および環境緑化関連製品の安定的な収益確保と機能性セラミックス製品の拡販を目指してまいります。

■ セグメント別売上高構成比



その他事業



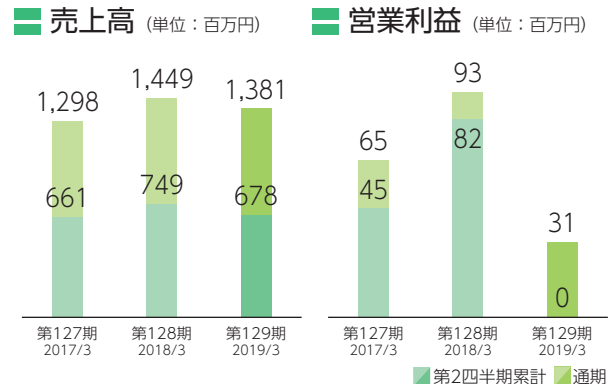
- 高温集塵用セラミックフィルターの製造・販売
- 高強度セラミックファイバー質成形体の製造・販売
- セラミックス多孔体の製造・販売



- 集材材その他建材の製造・販売
- 住宅用燃焼機器、石油製品等の販売
- 太陽光発電所における発電、電気の供給



その他事業におきましては、環境緑化関連製品の売上は前年を上回ったものの、建設関連資材の需要低迷による売上減等により、連結売上高は13億81百万円（前期比4.6%減）となりました。

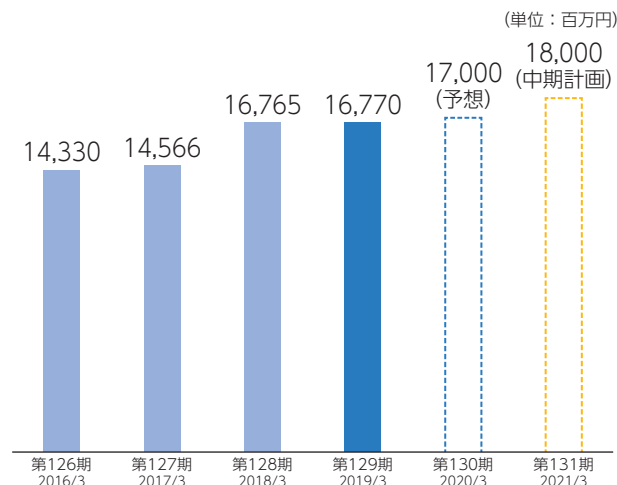


連結財務ハイライト

第129期実績

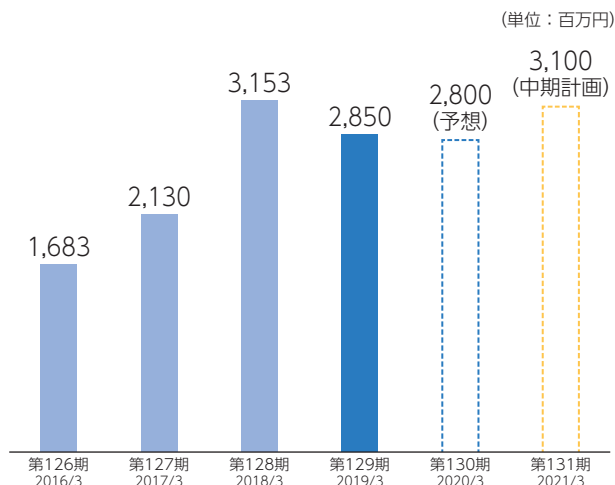
売上高

16,770 百万円 前期比 0.0%



営業利益

2,850 百万円 前期比 9.6%



第130期予想

売上高

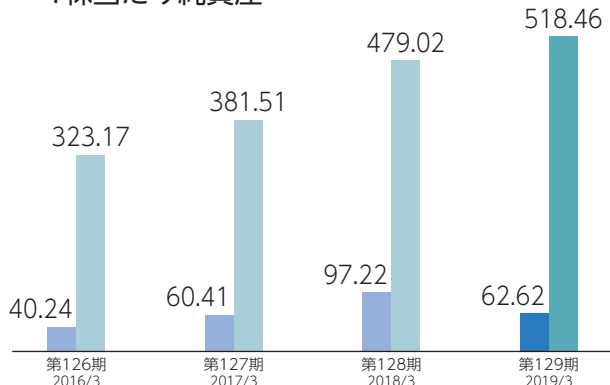
17,000 百万円 前期比 1.4%

営業利益

2,800 百万円 前期比 1.8%

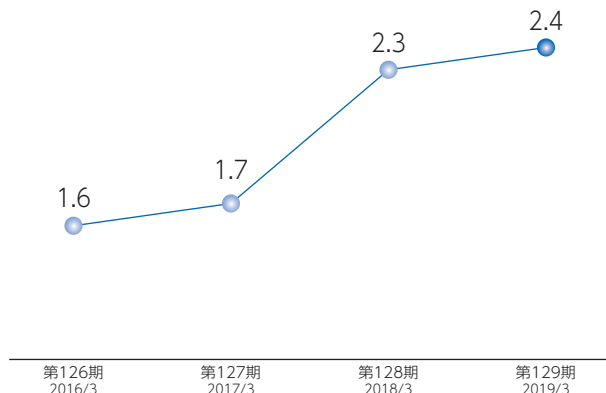
1株当たり当期純利益 1株当たり純資産

■ 1株当たり当期純利益 (単位：円)
■ 1株当たり純資産 (単位：円)



純資産配当率 DOE

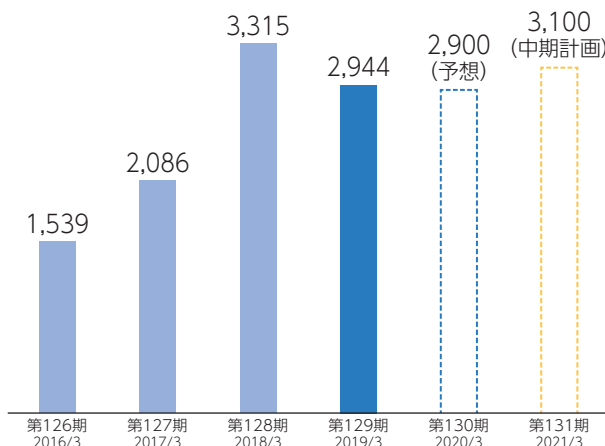
(単位：%)



経常利益

2,944百万円 前期比 11.2% 

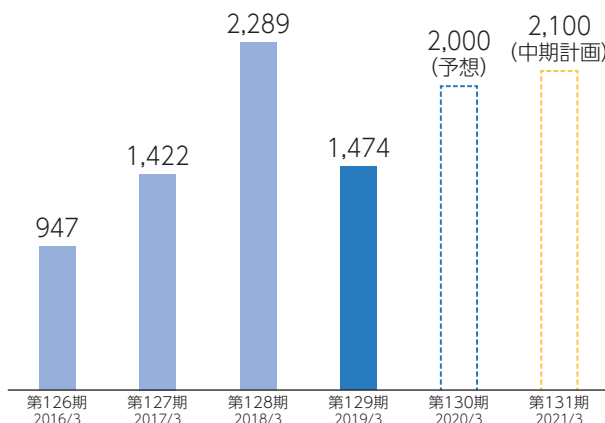
(単位：百万円)




親会社株主に帰属する当期純利益

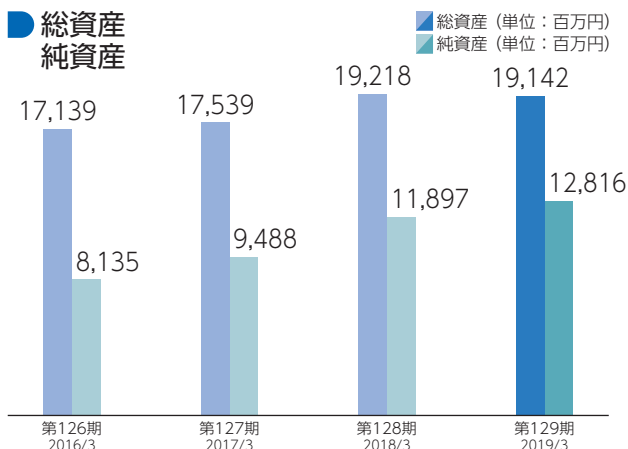
1,474百万円 前期比 35.6% 

(単位：百万円)




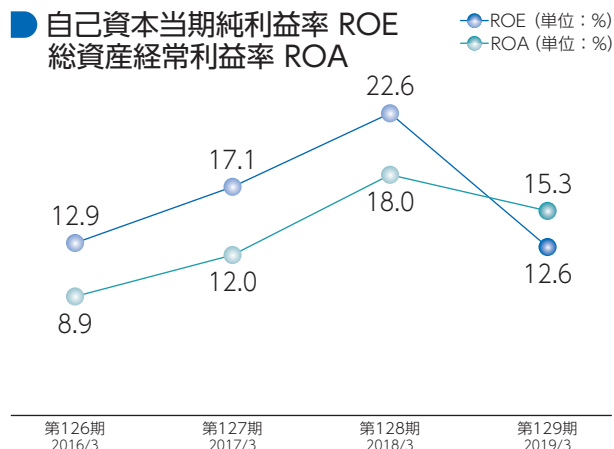
経常利益

2,900百万円 前期比 1.5% 



親会社株主に帰属する当期純利益

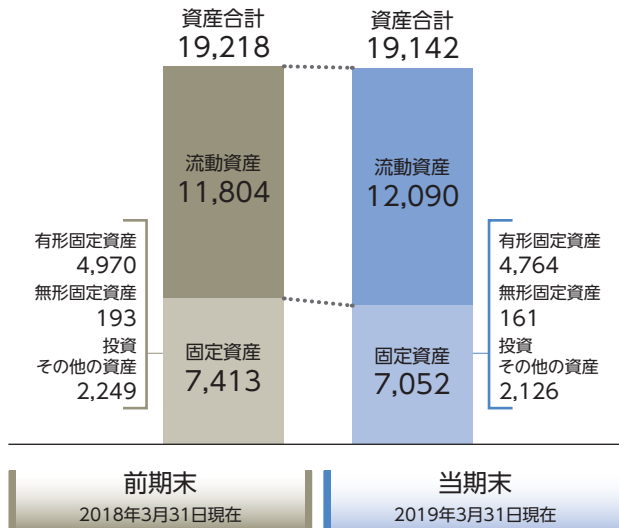
2,000百万円 前期比 35.6% 



連結財務諸表 (要旨)

● 連結貸借対照表 (単位: 百万円)

● 資産の部

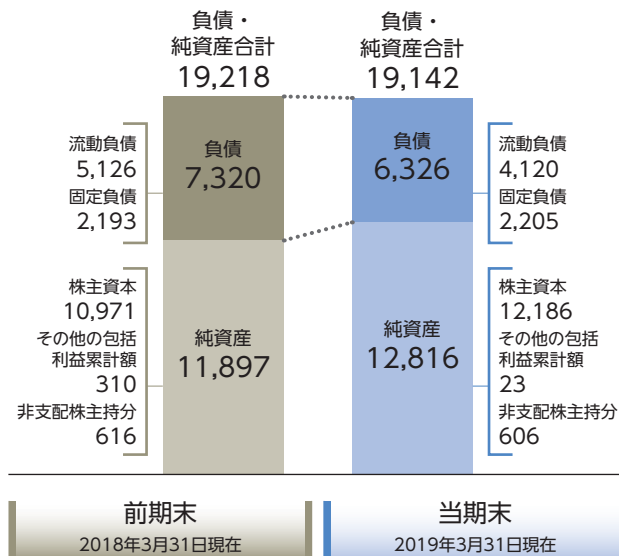


総資産

前期末比 **75百万円** ▼

当連結会計年度末の総資産は、有形固定資産の減少等により前連結会計年度末に比べ75百万円減少し、191億42百万円となりました。

● 負債・純資産の部



負債

前期末比 **9億94百万円** ▼

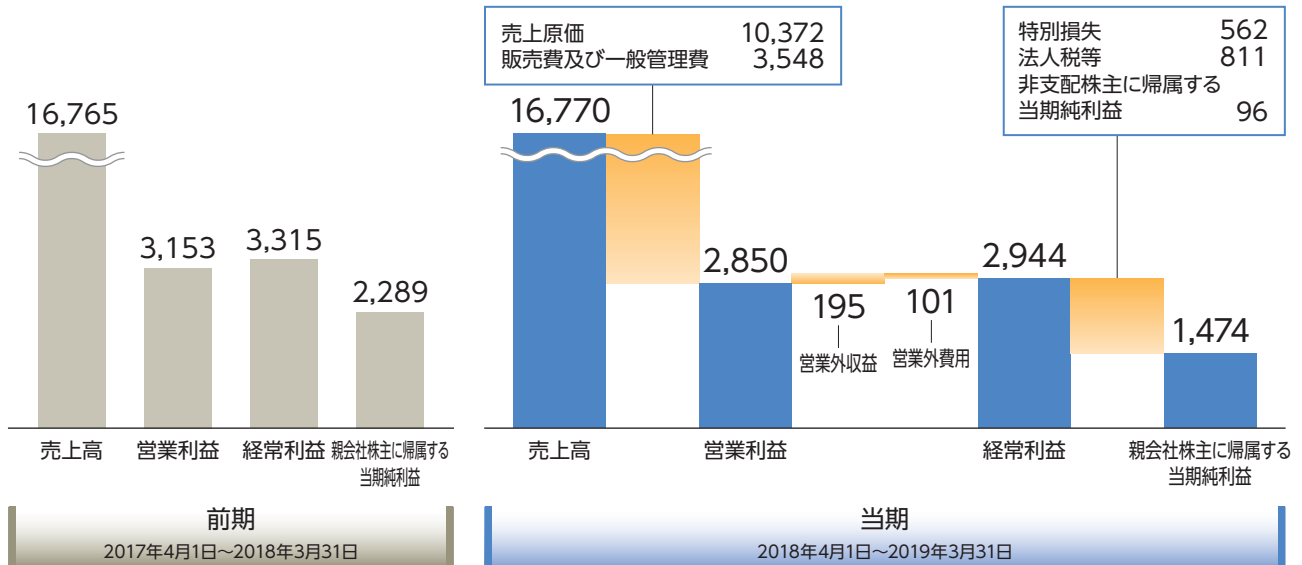
当連結会計年度末の負債は、借入金の減少等により前連結会計年度末に比べ9億94百万円減少し、63億26百万円となりました。

純資産

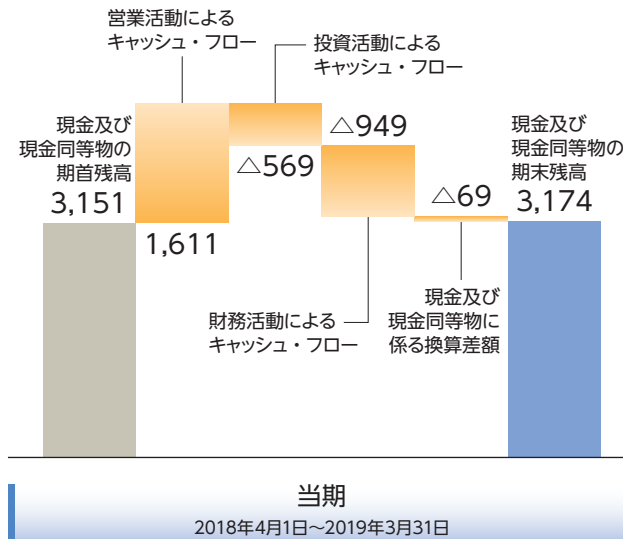
前期末比 **9億18百万円** ▲

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ9億18百万円増加し、128億16百万円となりました。

● 連結損益計算書 (単位：百万円)



● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は16億11百万円（前連結会計年度は21億4百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益、減価償却費によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は5億69百万円（前連結会計年度は3億41百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は9億49百万円（前連結会計年度は14億51百万円の減少）となりました。これは主に、借入金の返済、配当金の支払によるものであります。

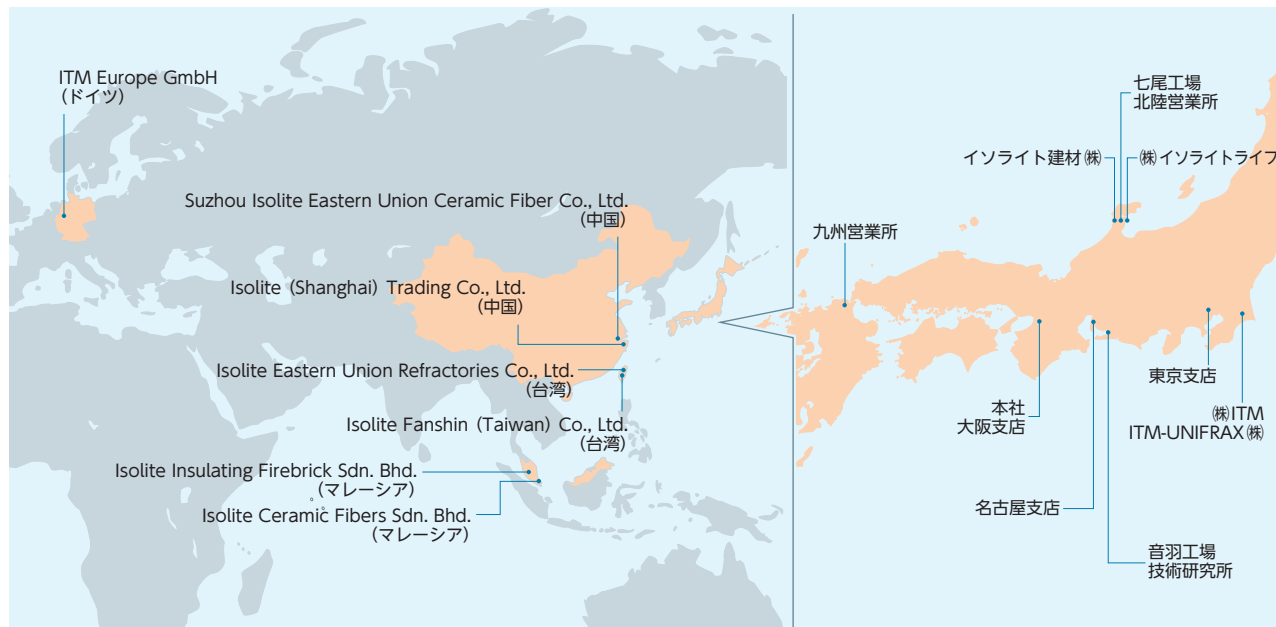
● 会社概要 (2019年3月31日現在)

社名	イソライト工業株式会社
設立	1927年11月25日
資本金	31億9,650万円
本社	〒530-6108 大阪市北区中之島三丁目3番23号 中之島ダイビル8階
URL	http://www.isolite.co.jp/
従業員数	665名 (連結)
グループ会社	連結子会社 9社 持分法適用関連会社 3社

● 役員 (2019年6月26日現在)

代表取締役社長	飯田 栄司
常務取締役	佐野 達郎
取締役	橋本 敏昭
取締役	山脇 敏弘
取締役	岡田 昭彦
取締役	高橋 正美
取締役 (常勤監査等委員)	佐藤 博司
取締役 (監査等委員)	白江 伸宏
取締役 (監査等委員)	石川 明彦

● グループ主要拠点



株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
51,259,000株	23,606,573株	5,512名

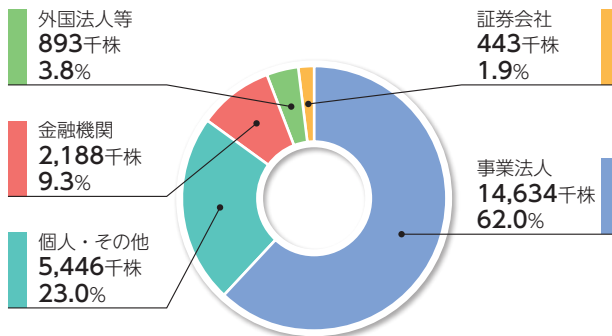
大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
品川リフラクトリーズ株式会社	12,919千株	54.86%
ニチアス株式会社	1,010千株	4.29%
野村信託銀行株式会社 (投信口)	376千株	1.60%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	270千株	1.15%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	247千株	1.05%
三井住友信託銀行株式会社	215千株	0.91%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	200千株	0.85%
三井住友海上火災保険株式会社	191千株	0.81%
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 1300000	172千株	0.73%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	162千株	0.69%

(注) 持株比率は自己株式 (55,513株) を控除して計算しております。

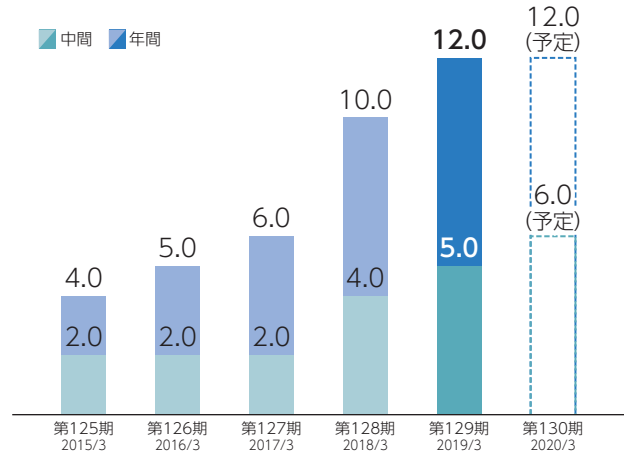
株式分布状況

所有者別株式数



1株当たり配当金

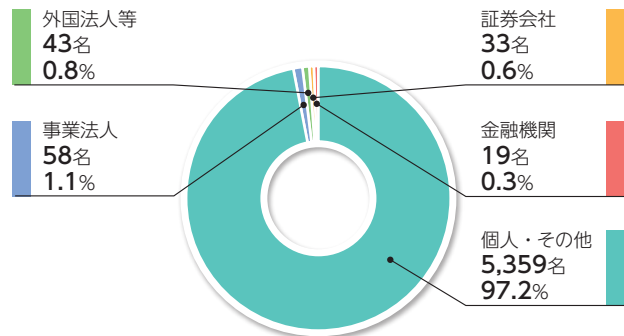
(単位: 円)



当社は、持続的成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、様々なリスクへの対応力を強化するため、強固な財務基盤を構築した上で株主の皆様へ業績に応じた適正な配当を実施することを基本方針としております。

第130期の期末配当金については、1株につき6円を予定しています。また中間配当金1株につき6円と合わせた年間配当金は、12円となる予定であります。

所有者別株主数



株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要あるときはあらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
株式に関する住所変更等の届出およびご照会について	証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。
特別口座について	株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等の届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。
公告の方法	当社のホームページに掲載します。 http://www.isolite.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場金融商品取引所	東京証券取引所

● 当社の単元未満株式を保有されている方へ ●

当社は、1単元(100株)に満たない株式をご所有の株主様に対しまして、不足分を買増して単元株式にまとめていただけるよう、そのご請求に応じて単元未満株式を売渡しいたしております。また、逆に、ご所有の単元未満株式をご処分されたい場合は、従来どおり当社にて買取りいたしております。お手続きにつきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の三井住友信託銀行株式会社の電話照会先にご連絡ください。

株式に関する 「マイナンバー制度」 について	市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届いただく必要があります。	マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先 <ul style="list-style-type: none"> ● 証券会社でお取引をされている株主様 お取引の証券会社までお問い合わせください。 ● 特別口座に記録されている株主様 上記特別口座の管理機関までお問い合わせください。
---------------------------------------	--	--

イソライト工業株式会社

〒530-6108 大阪市北区中之島三丁目3番23号 中之島ダイビル8階



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。